

地方力

謹賀新年

今年も宜しくご指導賜りま
すようお願い致します。
前野事務所スタッフ一同

真自由主義宣言

- 一、言葉や行動に責任を持つ（知行合一）。
- 二、公私（個と全体）両面の効果を明確にした目標を設定し、率先してその目的を達成する。
- 三、原則や道理を重んじ、総合的判断をする。
- 四、家庭を理想的基盤とし、道義国家の実現に努める。

緊急提言
平成22年新春

発行
前野弘明後援会
岩国市通津1951-1
0
岩国市由宇町4460
電話39-0007



私たちはいつごろから間違いや失敗の原因を「他の仕業」にしてきたのでしようか。地球温暖化に象徴する環境問題も、荒れた社会の原因も、身の回りに起きる全ての出来事に対し自分が自らの責任で解決しようという行動規範が今問われています。そういった、私の課題として捉えることが出来る「自己完結型社会」を目指していけたらどんなに素晴らしいことでしょう。維新の地から「真自由主義宣言」を発し、あわせて、「いわくに再建宣言」を提案し、新年に相心しいスタートをしたいとおもいます。賛同される方の積極的参加を希望します。

外交や安全保障は、国民の命や財産を護る国会の大きな課題です。米中を等距離に置くということは、日本を共産革命の渦中に入れ

るということです。最も危険な状況に突入した「日本丸」は、良識ある国会議員の責任で正して欲しいものです。

在日米軍の再編問題は、日米の政府間の課題です。内閣が責任をもって早急に決断すべきです。地方に判断を委ねると、内紛になります。

生活を護るのは、地方自治体の課題です。不平不満を解消する努力と、夢や希望の基盤である融和・愛和・慈悲の精神を涵養する責任があります。

今年、自己完結型社会の基盤形成の為に江戸しぐさの理解と普及を目指し、「いわくにしぐさ」を興していきたいと思っております。

前野弘明
岩国市議会議員

いわくに再建宣言

- 一、真のボランティア活動を通じ自立の精神を養う。
- 二、「いわくにしぐさ」で互いに支えあうおもいやり社会を実現する。
- 三、自然や歴史を大切に、新しい文化を創造する。

一年間、議会での重要なポストである「監査」の役を終え、次のステージへ向かって、地方力の強化と一歩前の決意で前野弘明は今年も精進させていただきますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

天地人志

まず足元から先日テレビを観ていたら、まどみちおさんのことを放映していた。その場面にもどさんの百歳の誕生日にお見舞いに来た人たちが楽しそうにハッピーバースデーツーユーと誕生日の歌を歌って喜ばしていた。とてもほえましい雰囲気だった。

それを観ながらフト心に陰ったのだが、このお見舞いに行っただ人たちの内何人が自分の家族の誕生日にあの気持ちで大きな声で祝福しているのだろうか。

同様に老人ホームや障害者の施設などを慰問に行く小学生なども「楽しかった」「喜ぶ笑顔に接して又いきいたい」など感想をのべている。こんなやさしい心をしてる子供や人たちがどうして家庭でこの心が生かされないのだろうかと思っ。核家族の生活が始まったのは何時頃であつたのか、動機、流行の原因はよく分からないが、現在では高齢者特に病気のど手がかる高齢者のいる家族はほとんど同居をいやがり施設に入れる。昔は当たり前であった三世帯同居の家庭はテレビで大きく取り上げられるほどである。

何故身内の人に対しては心を閉ざすのだろうか？私には分からない心理があるのだから、両親の間性・心の持ち方・思いやりの心などで家庭が変わり、その中で生活をしている子供にも影響を与えていると思っのだが。

この一家庭の生き方が池に石を投じて波紋が広がるように隣近所・地域に、職場に、学校に輪を拡げていけば明るい世の中になるのではないかと思っただことである。

会長 森山 俊一